みなさんと議会を結ぶ

西和賀町 議会だより

No.32
平成25年10月25日号
発行・岩手県西和賀町議会

9月定例会（9月10～20日）

簡水・湯田水系工事に4億円…2P
平成24年度の決算を認定……6Pほか
監査委員の厳しい指摘……10P

夢をつかめ!! 夢にしわがっ児 Vol.18

湯田中・沢内中野球部 合同チームで挑戦

（写真：9月21日岩崎球場での１回戦の様子・関連24ページ）

9月定例会
主な話題

職務怠慢ではないか？
簡易水道・工事発注が遅れた訳とは

今回提案された議案に、西和賀簡易水道統合事業に伴い湯田水系の４つの工事契約案件が提案され、このことに関し話題が集中しました。**→関連12Ｐ**

早川議員　今回はかなり大きな工事額で、４工事で４億円あまりの発注となるが、25年度事業の簡易水道事業として、未発注の工事があるか。

建設課長　旧湯田町の簡易水道の統合事業として、25年度は湯田水系と新田郷水系の工事予算を計上している。今回の発注は、湯田水系のみで、当初予定のとおり発注することができた。新田郷水系は未発注である。

早川議員　地元の下流域の了解は完全にとってあるのか。

建設課長　細内川から取水予定だが、農業用水も関係するためこの春から協議している状況だ。左草水源は、地域との協議の結果、理解を得て工事を進めることになった。

早川議員　発注が遅れた、遅れている理由は何か。

建設課長　地域との協議に時間がかかったためである。

副町長　地域の了解が得られず、着手できないことをお詫び申し上げたい。

髙橋（雅）議員　工事発注の遅れは、職務怠慢ではないか。

副町長　地域の理解を得られないまま、見切り発車をするべきではないとの判断だ。時間が経過したが、年度内完成を目指したい。

早川議員　この統合事業は今に始まった事業ではない。地域の了解を得るという基本的なことは、計画の策定段階で行って然るべきである。

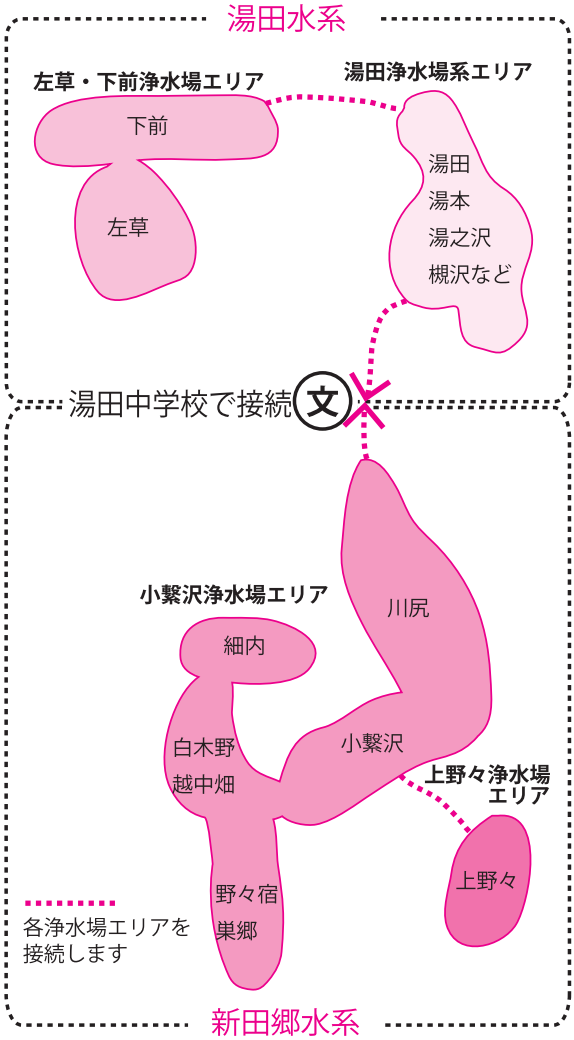
　さて、今回２つの工区の事業を花巻市の事業者に発注しており、契約額は約１億６千万円である。地元でできるのは地元に発注してほしい。このような積み重ねは、これからのまちづくりに禍根を残すのではないか。

総務課長　工事発注は入札を行い、その結果、町外事業者と契約した。

深澤議員　新田郷水系に関し、今後地域の了解が得られない場合はどうなるか。

副町長　今は、新たな水源地は考えていない。

西和賀簡易水道統合事業の概略図



●湯田水系は、左草・下前浄水場エリア（左草、下前）と湯田浄水場エリア（湯田、湯本、湯之沢、槻沢等）を統合し、水源は巣子沢。
●新田郷水系は、小繋沢浄水場エリア（川尻、新田郷等）と上野々浄水場エリア（上野々）を統合し、水源は細内川を予定。
　また、湯田水系と新田郷水系は湯田中で接続し、断水時に対応できるようにします。
（建設課の資料を基に議会事務局で作成。位置などは実際のものとは違います）

西和賀簡易水道統合事業とは…

　旧湯田町の簡易水道と旧沢内村の簡易水道を平成28年度に統合し、平成29年度から西和賀町上水道とするもの。
　この前段階として旧湯田町に５つある簡易水道の給水区域を統合する必要があります。今回の工事発注は湯田水系を整備するものです。

決算審査特別委員会の主な話題

9月定例会 主な話題

全国学力調査の結果に危機感

9月13日から19日まで決算審査特別委員会を行いました。全国学力調査結果の中学数学A・Bで全国最下位に近い結果となったことから、児童・生徒の学力向上の取り組みが大きな話題となりました。

早川議員　教育は、まちづくりなどの土台である。今年4月に全国学力・学習状況調査が実施され、先ごろ結果が公表された。結果をみると今後、20年、30年先が非常に不安であるが、この調査結果をどのように考えているか。また、指導に問題はなかったか。→表1と2

教育長　従来から基本・基礎ができていないので、学力向上の底上げをしていかなければならない。

しかし、一方で結果重視、点数重視ではなく、過度の競争がおきないようにと文部科学省からも指導されている。教諭の資質向上を図る必要もある。

早川議員　調査結果に関し細部の分析も必要である。少なくとも、全国の中位を目指し学力を向上させてほしい。今後の西和賀のまちづくりにつながるし、西和賀高校の存続にもつながる。

芸は身を助ける場合も滅ぼす場合もあると言われるが、今の西和賀町の教育現状は最悪という状況であることから、なお一層の努力を期待したい。

髙橋(昭)議員　学ぶ環境になっているのか、などもう少し掘り下げた分析が必要ではないか。

ところで、沢内庁舎農林課の入り口に町内学校の学校通信が掲示してある。湯田中の学校通信では分析結果が公表され、沢内中では自己評価という観点の記事を掲載していた。

西和賀の教育はどうあればいいのか。議論する場が必要になっているのではないか。

教育長　小学校の基本・基礎をしっかり学ばなければ、中学校で差が大きくなっていく。また、学力もしかりだが、生きていく力を育む必要があると考えている。

髙橋(昭)議員　学力重視が絶対とは言わないが、社会に出たときには学力と応用力が必要になる。マンモス校よりは、西和賀の学校は集中的、個々人にあわせられる学習環境であり良い状況にある。この環境も生かしてほしい。

教育長　責任がこれまで以上に重大なので、議論を深め、学校現場に反映させていきたい。

いが、どのように取り組むかで、生徒の学力向上や体力向上が大きく左右される。このことをどう考えているか。

表・1　全国学力・学習状況調査結果（小学校）

	国語A	国語B	算数A	算数B
岩手県	9位	9位	15位	24位

表・2　全国学力・学習状況調査結果（中学校）

	国語A	国語B	算数A	算数B
岩手県	7位	19位	45位	45位

※表は、いずれも平均正答率による全国の県順位。
※県内の学校順は公表されていません。

全国学力・学習状況調査とは…

調査の目的は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図るために、国が毎年実施しているものです。今年は、4月24日に全国一斉に行われました。

調査の対象は、全国の小学校6年生と中学校3年生です。

調査の内容は、国語、算数・数学で、それぞれ「知識」に関するA問題と、「活用」に関するB問題が出題されました。

※19年度～21年度は全校調査。22年度、24年度は抽出方式。23年度は東日本大震災のため希望校に問題冊子を配付。25年度は全校調査

町長行政報告

沢病・石川先生退職
医師確保を県に要望
ほか

行方不明の男性は、9月27日に西和賀消防署捜索隊により錦秋湖左岸、百間平スノーシェッド大石側入口付近で遺体で発見されました。（写真は捜索状況を報告している消防団員ら）

●沢病・石川先生の退職

沢内病院の副院長兼院長職務代理者の石川清先生が8月31日で退職しました。

石川先生は、平成20年7月から約5年間勤務し、人工透析の再開などに尽力していただきました。

常勤医師の確保は、あらゆる方法を模索し最大限の努力をしていきます。

石川清先生

●6項目を県に要望

8月7日、佐々木議会議長と共に、遠藤県南広域振興局長に対し、要望書を提出しました。

要望内容は、地域医療の確保と医師対策など6項目です。

なお、幅員が狭く急カーブのため昨年まで継続要望してきた県道ゆだ錦秋湖停車場線の岩滑橋（耳取地区）の整備着手が決定しました。

今年中に整備計画をたて、26年度に用地測量、27年度は用地買収、28年度から道路整備工事を行う予定です。

●山菜採り男性行方不明

9月16日南本内岳方面に入山した横手市山内在住の75歳男性が行方不明となりました。

南本内林道の通称真名板（まないた）と呼ばれる地区に軽トラックが残っていたことから、その近辺や南本内川の下流域、湖面などの捜索を17日から19日まで行いました。残念ながら発見にはいたりませんでしたが、町消防団から3日間で延べ100人が捜索に出動しました。

●豪雨による被害

県内に42ある気象台の観測地点では、7月だけの降雨量が県南部を中心に22地点で、観測史上最大を記録したとの発表がありました。

本町でも、町道安ヶ沢線、町道高下線が被災しました。

●中部拠点都市協を解散

平成5年に指定を受け4市4町により北上中部地方拠点都市地域推進協議会が設立され、旧湯田・旧沢内もオブザーバーとして協議会に関わってきました。

協議会の基本計画の目標年次である平成24年度を経過し、その後に基本計画の変更などを行わないことから、9月30日をもって解散することにしました。

第21回西和賀町議会定例会会期日程

平成25年9月10日㈫～20日㈮まで

月　日	内　容	関連ページ
9月10日(火)	諸報告	4
	一般質問 ・中村キミイ議員 ・湯澤正議員 ・刈田敏議員	14～19
11日(水)	一般質問 ・淀川豊議員 ・髙橋昭貴議員	
12日(木)	議案審議 ・報告1件　・条例1件 ・補正予算6件 ・その他5件	12～13
13日(金)～19日(木)	決算審査特別委員会	3、8～10
20日(金)	決算審査特別委員長報告	11
	24年度決算議案表決　9件 請願・陳情 新規　3件 発議3件	12～13

※①9月12日と18日は常任委員会を行いました。
②14日から16日までは休会しました。
③議会の回数は、定例会、臨時会も含めた回数で、議員の任期（4年間）での累計開催数を表します。

※行政報告とは町長や教育委員長が町の大きな話題を議会に報告することです。
報告なので、議員は行政報告に対し質問することはできません。

私たちのくだした判断　第21回9月定例会・議員ごとの賛否状況

※議案順に掲載しています。審議順ではありません。

番号		議案名（一部省略しています）	関連ページ	柳沢安雄	湯澤正	柿澤繁俊	中村キミイ	淀川豊	深澤重勝	髙橋雅一	児玉正彦	刈田敏	早川久衛	髙橋昭貴	佐々木正裕
報告	1号	24年度健全化判断比率・公営企業会計資金不足比率	7P、12P	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案	1号	児童遊園条例の一部改正	12P	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	2号	25年度一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	3号	25年度国保会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	4号	25年度介護保険会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	5号	25年度下水道会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	6号	25年度温泉会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	7号	25年度沢内病院事業会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	8号	湯田水系導水管布設工事（１工区）請負契約	2P、12P	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	9号	湯田水系配水管布設工事（5工区）請負契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	10号	湯田水系配水管布設工事（3工区）請負契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	11号	湯田水系配水管布設工事（4工区）請負契約		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	12号	自治会館管理組合の組織団体数減少の議決	13P	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定	1号	24年度一般会計歳入歳出決算	6～12P	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	2号	24年度国保会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	3号	24年度後期高齢者会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	4号	24年度介護保険会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	5号	24年度簡易水道会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	6号	24年度下水道会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	7号	24年度農集排会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	8号	24年度温泉会計歳入歳出決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	9号	24年度沢内病院事業会計決算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
請願・陳情	1号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情	13P	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	2号	私学教育を充実・発展させるための陳情		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	3号	違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	―	理科教育設備整備等に関する要望		参考配付（本会議での審議はなし） 参考配付とは、議員にその写しを配付することをいいます。											
	―	母（朱春菊）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望													
発議	1号	道州制導入に断固反対する意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	2号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	3号	私学助成の充実についての意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

表の見方：「○」は賛成、「●」は反対。採決の際の棄権は「棄」、欠席は「欠」、遅刻は「遅」、早退は「早」を表し、「－」は採決に加わらなかったことを表します。また、佐々木議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

紙上クイズ　スミからスミまで

空欄に適切なことばをいれてご応募ください。
当選者（３人）には豪華景品を差し上げます!!

問題文

1．平成24年度の一般会計歳出決算額は○○億5588円です。
2．平成25年度全国学力調査で中学校国語Aの岩手県の全国順位は○位です。
3．今回契約となった簡水・湯田水系の4つの工事の契約額は約○億円です。

前回号の答え

1．広報　　2．B（正しくはD）　　3．1

【応募方法】
はがきやFAXで、答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢をご記入ください。また、議会に対するご要望、ご意見などがありましたら、あわせてご記入ください。なお、匿名での受付はしません。

【応 募 先】
〒029-5692
西和賀町議会事務局「議会だより紙上クイズ」係まで、FAXの場合は0197-81-2008まで

【締め切り】 11月8日消印有効とします。

【発　　表】
次回号で当選者（特に断りが無い限り、氏名と地域）を発表します。

【No.31の当選者の発表】
中村シゲ様・川舟、柿澤勝城様・さいたま市、飯野壽様・上野々　おめでとうございます。

※2の問題で、議会だよりでは、ハッチョウトンボの岩手県の絶滅危惧種指定は『Bランク』と記載しましたが、正しくは『Dランク』です。紙上クイズの回答は、「B」だけでなく「D」と回答した方も正解者とさせていただきました。紛らわしい問題となったことをお詫びします。

24年度 決算の中身

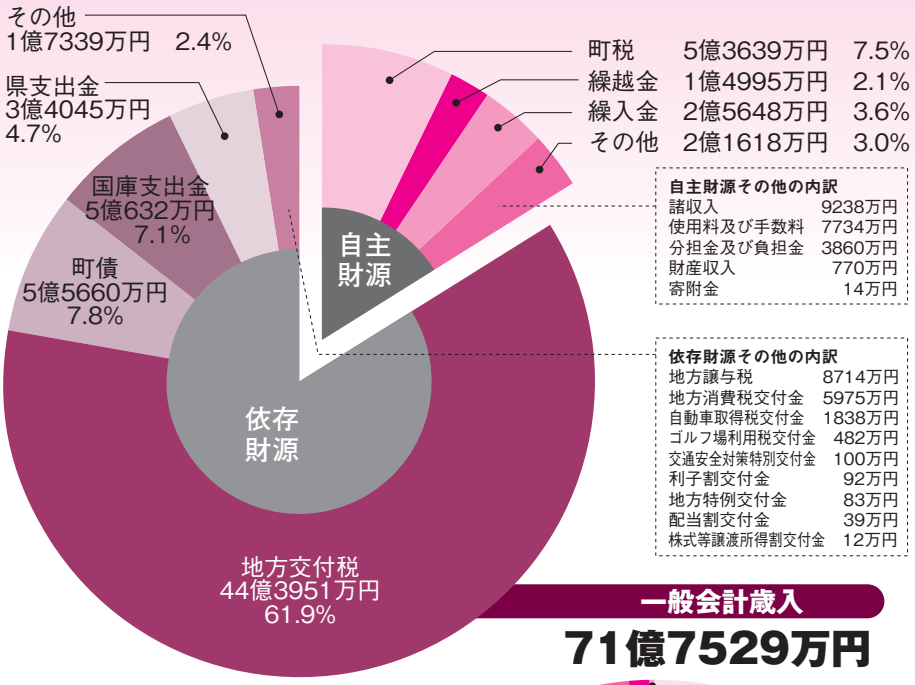
一般会計歳入決算額は71億7529万円、歳出決算額は68億5588万円で、歳入から歳出を差し引いた差引残額は3億1940万円で黒字決算でした。

病院会計を除く特別会計の歳入決算額は33億4014万円、歳出決算額は30億7605万円で、歳入から歳出を差し引いた差引残額は2億6408万円で黒字決算でした。

一方の病院会計は、収益収支の収入額は6億1422万円、支出総額は6億3141万円で△1719万円の赤字決算でした。↓表2

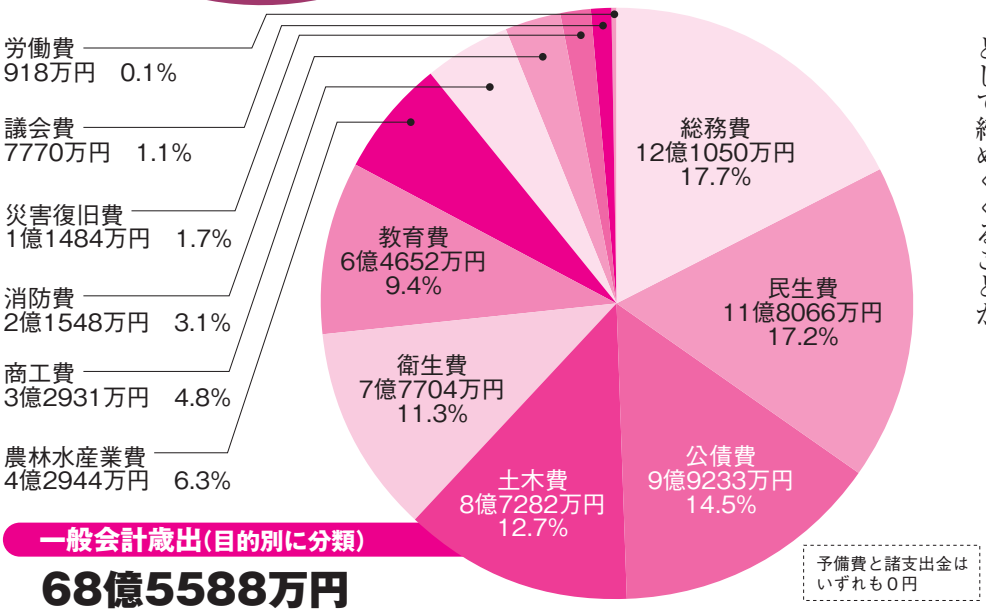
細井町政1期目の任期としては最後となる決算でしたが、湯澤議員の討論にもあるように（↓関連12P）、借金を減らし、貯金を増やすことができたことから、「有終の美」として締めくくることができたのではないでしょうか。

一方では病院建設が始まり、簡易水道の統合事業が着手されていることから、今後も予断を許さない厳しい財政状況が続くと考えられます。



一般会計歳入

71億7529万円



一般会計歳出（目的別に分類）

68億5588万円

予備費と諸支出金はいずれも0円

※表・グラフ・文中の数字とも万円未満を切り捨てているため合計が一致しない場合があります

【表1】平成24年度決算の会計ごとの状況

会計区分		歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	差引残額(A)－(B)
一般会計(C)		71億7529万円	68億5588万円	3億1940万円
特別会計	国民健康保険	10億3658万円	8億651万円	2億3006万円
	後期高齢者医療	7648万円	7552万円	96万円
	介護保険（保険サービス勘定）	10億5783万円	10億4965万円	818万円
	介護保険（介護サービス勘定）	1236万円	1201万円	34万円
	簡易水道	5億1360万円	5億641万円	718万円
	下水道事業	3億9696万円	3億8781万円	915万円
	農業集落排水	5628万円	5196万円	432万円
	温泉事業	1億9001万円	1億8616万円	385万円
	特別会計小計(D)	33億4014万円	30億7605万円	2億6408万円
合計(C)+(D)		105億1543万円	99億3194万円	5億8349万円

用語解説

▼歳入と歳出とは
歳入は町の収入で、歳出は支出したお金のこと。

▼一般会計とは
町の基本的な行政運営のための経費を中心に計上した会計のこと。
町には、病院会計も含めて8つの特別会計があります。

▼特別会計とは
国民健康保険事業のように法律で義務づけられている会計のほか、簡易水道事業などの地方公営企業として経理を明確にするために設置している会計のこと。

▼自主財源と依存財源とは
歳入には大きく分けて2種類あります。
自主財源とは、町民税や法人税など町が直接集めた財源であり、依存財源とは地方交付税などのように国などから配分された財源です。

▼町債と公債費とは
町債は町の借金のことで、国や金融機関から借り入れます。公債費は、その借金を返済するお金です。

細井町政一期目・最後の決算

【表２】平成24年度決算の沢内病院会計の状況

項　　目	収入総額(A)	支出総額(B)	収入収支差引(A)－(B)
収益的収支	6億1422万円	6億3141万円	△1719万円
資本的収支	1億5996万円	1億5996万円	0円

※収益収支の科目には、診療収入や職員給与の支払いなどが含まれます。一方、資本収支の科目には病院の改修費、備品購入費などが含まれます。

【表３】町の財政状況指数の状況

区　　分	22年度	23年度	24年度	全国町村平均	説　　明
財政力指数 （数値は高いほど良い）	0.15%	0.15%	0.15%	0.39%	一定の行政水準を維持するのに必要な経費に占める税の割合を示したもので、指数が高いほど財政が豊かであることを示します。
経常収支比率 （数値は低いほど良い）	83.0%	85.3%	78.9%	85.3%	町税や地方交付税などの経常的な収入に対する人件費、扶助費、公債費などの割合を示したもので、値が小さいほど財政運営に余裕があるとされます。町村では70%以下が望ましいとされています。
公債費負担比率 （数値は低いほど良い）	17.0%	16.3%	16.9%	15.3%	財政の健全性を測定する指標で、財政にしめる借金の返済額の割合を示すので、値が大きくなるほど、返済金の占める割合が大きいことを意味します。

※全国町村平均値は、総務省の「地方財政白書25年版」からの数値です。

【表４】町の健全化指標の状況

区　　分	22年度	23年度	24年度	説　　明	参　　考	
					早期健全化基準値	財政再生基準値
実質赤字比率	－	－	－	一般会計の歳入と歳出の差引の形式収支から翌年度に繰り越すべき財源などを控除した実質収支額が赤字か、黒字かを調べるもので、赤字ではないため値はありません。	15%	20%
連結実質赤字比率	－	－	－	一般会計のほか簡易水道、下水道など特別会計を含めた町の全ての会計の実質収支額が赤字の場合に、標準的な財政規模に対する赤字額の割合を示す比率で、赤字ではないため値がありません。	20%	30%
実質公債費比率 （数値は低いほど良い）	14.8%	13.4%	12.1%	町の一般会計などから支出する元利償還金などの標準的な財政規模に対する比率です。	25%	35%
将来負担比率 （数値は低いほど良い）	105.3%	94.4%	67.0%	町の一般会計などが将来負担するべき実質的な負債の、標準的な財政規模に対する比率です。	350%	－

【表５】町の公営企業資金不足比率の状況

区　　分	資金不足比率			説　　明	参　　考
	21年度	22年度	23年度		早期健全化基準値
簡易水道会計	－	－	－	対象となる５つの特別会計で、資金不足となっていないため値がありません。	20%
下水道会計	－	－	－		
農業集落排水会計	－	－	－		
温泉会計	－	－	－		
沢内病院会計	－	－	－		

※健全化法の対象となる会計は8つの特別会計のうち5つの会計のみです。

▼地方交付税とは

どの市町村でも同じように行政事務ができるように国税の酒税、消費税たばこ税、所得税、法人税の５税の一定割合を、一定の基準により国が市町村に対し交付するお金です。

▼健全化判断比率とは

『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』で①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の４つの健全化判断比率を設け、この指標から財政の早期健全化や財政の再生などを図るための計画を策定する制度が定められました。

４指標のうち１つでも早期健全化基準値を超えれば「財政健全化計画」を、早期健全化基準値を超えて財政再生基準に達しているものが１つでもあれば「財政再生計画」を定める必要があります。

▼公営企業資金不足比率とは

町の公営企業会計ごとの収入と支出の差引である資金収支額が不足し赤字となった場合の、事業規模に対する資金不足額の割合を示す指標です。

監査委員から、なぜ同じ指摘を受けるのか

監査委員からなぜ同じ指摘を受けるのか

深澤議員　監査指摘に関し、内部で検討しているというが、内部では具体的にどのように取り組んでいるか疑念を感じる。

　監査意見書には、指摘事項に対し改善がみられないとして再指摘を受けているが、監査委員の指摘は基本的な事柄であると思えるがどうか。

副町長　基本的には、監査意見書を生かす方向でいる。しかし、監査意見書の指摘に対し、改善の報告義務はない。指摘事項が条例や法令に抵触している場合は改善する。しかし、監査委員の見方と裁量権や執行権をもつ我々の見方は同じではなく、考え方の違いもあり、監査委員の指摘のとおりしなければならない訳ではない。

深澤議員　例えば、水道料などの滞納に関し、個々の滞納状況を示した台帳を備えることは、債権管理の初歩的な事務で、常識である様に思えるがどうか。

副町長　滞納者台帳は完全に整備していない。不十分なところは今進めているところだ。

深澤議員　人間は得てして、安易な方向に進みがちである。もし当局において、指摘されたことは聞き流しておけば良いと考えているならば、緊張感を高め適正な事務執行をしてほしい。

　副町長は、監査意見書の回答義務は無いとのことだったが、法律の定めがないにしろ、指摘されたことにどのように取り組み改善したのかを自主的に報告するように取り組めないか。

町長　今までは回答してこなかったが、内容を整理し今後の取り扱いを協議したい。

ひかり放送端末使用料102万円の滞納の訳

刈田議員　ひかり放送事業に関し、端末使用料102万円の滞納が生じているが、収入されない理由と普及率はどの程度になっているか。

総務課長　使用料を納付いただけなかった方には一斉に電話などで納入のお願いをしたが、忘れている人が多かった。

　ひかり放送の設置戸数は、事業所・一般住宅で2041戸、公共施設で94施設である。現在の世帯数は2429戸なので、普及率は84％である。

刈田議員　全ての世帯に設置されていない状況で、万が一の際はどのように町民に周知していくのか。

総務課長　現時点では、広報車の活用を考えている。

温泉施設の値上げ実際の効果は

湯澤議員　平成23年度に町内温泉施設の利用料金を改定した。その際の答弁では、値上げ効果により600万円の増収になるとの説明であった。

　しかし、前年度と比べると約200万円しか増収になっていない。利用料に関し、どのように考えているか。

政策推進室長　料金改定は該当地区の了解も得ながら実施した。料金改定の効果はあったが、人口減少などもあり利用者数が減少している。

利用者が伸びている「丑の湯」

西和賀牛のブランド化を進めて行けるか

刈田議員　西和賀牛のブランド化を今後、どのように取り組んでいくのか。

町長　西和賀牛として売り出す場合には、生産量などの裏付けが必要だ。生産者と担当課で吟味し対応が可能かブランドにしていくべきかどうか検討したい。

湯澤議員　ブランド化に関し危惧を感じるのは、町内肥育農家が2戸しかないことだ。

　例えば、有機農業には畜産はなくてはならないなどの基本的な考え方が認識されないまま、小手先でその場限りの対応になっている。

　今後の農業政策を推進するには、一担当課だけでは無理ではないか。

副町長　流通をキーワードにして、西和賀全体が企業だという理念で進める必要がある。この気持ちで6次産業を進めることが根底の基本姿勢になる。

　競争力は他地域と比べ弱いので、西和賀というブランドを如何に確立していくかが課題だ。

児玉議員　ブランド化に取り組む覚悟は。

町長　ブランドの対象となる商品は増やしていきたい。そのためには、なお一層の現場の状況把握

女性消防団員の可能性はあるか

を進めたい。

平泉～ほっとゆだシャトルバス運行状況は

柳沢議員　大型観光キャンペーンであるディスティネーションキャンペーン（DC）が、昨年4月から6月まで行われた。この際に、西和賀と平泉を結ぶシャトルバスを運行したが、その実績は。

観光商工課長　6月1日から7月31日までの土日祝祭日に1日1往復し、この期間に15本を運行し、延べ約100人が乗車した。利用者は町民が多く、観光客の誘客には結び付かなかった。

町道パトロール以前より少なくないか

湯澤議員　以前に比べ、道路パトロール車による巡回が少なくなったように思うが、どうか。

建設課長　24年度は3人体制でパトロールを行った。不十分な点もあったと思うが、災害が予想される場合は連絡をとりあい詳細把握に努めた。連絡があった場合は、できるかぎり速やかに現地を確認するよう努めている。

施設の老朽化と女性団員の起用は

児玉議員　若畑地区には10機の消火栓があるが、町全体として何機あるのか。

総務課長　町内には、279機の消火栓と94の防火水槽がある。消火栓や防火槽は、古いものから順次更新している。特にもホースの更新は必要だと考えている。

児玉議員　これらの設備はどのように維持管理しているか。

総務課長　基本的には地元消防団で管理することになっている。ホースなどの劣化は、使用しないとわからないので、各地区の自主防災組織の訓練の際に使い確認するしかない。

湯澤議員　消防団員が欠員となっている。町職員で入団しているのは何人か。そして、団員をふやす手立てとして若い女性を入団させる、あるいは婦人消防協力隊に入隊させるなどは考えられないか。

総務課長　町職員のうち団員登録しているのは41人。嘱託職員では9人である。

　職員の入団は勧めているが、対象は男性職員だった。危険な現場であることから、女性職員がどこまでやれるかは別として、女性職員が担えるとすれば検討していく余地がある。

　今後は定数の定義が面積割なのか、人口割なのかなどを見直す必要がある。

西高の魅力化基金は何に使われた

早川議員　西和賀高校の魅力化を高めるための5千万円の基金の使い道はどうなったか。

町長　検討中だが、10月ころには方向性を見いだしたい。

常勤医師はいつまでに確保できるのか

淀川議員　新病院の開院にあたっては常勤医師4人体制という説明をうけてきた。いつまでに、医師を確保するのか。

病院事務長　消化器や整形を専門にする医師を確保したい。来年の2月までには3人の常勤医師を確保したい。

唯一の常勤医師である須原先生は日々激務が続いています。

西和賀町消防団の年齢区分による団員数調べ（平成24年度決算附属資料から）

階級 / 年齢別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
～ 24	－	－	－	－	－	－	6人	6人
25 ～ 29	－	－	－	－	－	－	23人	23人
30 ～ 34	－	－	－	－	－	3人	42人	45人
35 ～ 39	－	－	－	－	1人	6人	47人	54人
40 ～ 44	－	－	－	－	1人	14人	47人	62人
45 ～ 49	－	－	－	2人	4人	17人	23人	46人
50 ～ 54	－	－	6人	6人	9人	26人	16人	63人
55 ～ 59	－	－	3人	5人	8人	12人	11人	39人
60 ～ 64	1人	2人	3人	1人	2人	6人	6人	21人
65 ～	－	－	－	－	2人	1人	2人	4人
合　計	1人	2人	12人	14人	27人	85人	223人	364人

※消防団員の実員数は364人で、条例定数435人に対し71人の欠員となっています。

平成24年度決算　監査委員の指摘

※(再)とあるのは、昨年度も指摘し改善の見られない事項です。

①(再)債権管理台帳整備

水道、下水道、農集排の使用料などの滞納額は累計で約3千万円に上っている。しかし、滞納者の台帳類が整備されていないので、台帳整備に努めてほしい。

②工事発注の時期

国の指針では、気温が5℃以下では舗装しないこととされている。しかし、実際には2月～3月期に完成する工事が多くあることから、工事発注は適切な時期に行ってほしい。

決算監査で各課から資料を求め、担当者から聞き取りする監査委員（写真右側）

③契約書への印紙貼付

印紙が貼付されていない契約書があったので適切に処理してほしい。

④指定管理者制度の運用

指定管理者には、各種報告が義務づけられているが、期限内に提出されていない事例があった。指定管理者ごとに予算の積算根拠に明確性を欠くものがあったので適正に事務処理してほしい。

⑤第三セクター財政支援

24年度中に、西和賀産業公社販売体制強化支援交付金1千万円などの経費が執行されている。

しかし、これからの決算状況を見る限り、投資額に対してはたしてどれだけの効果をあげているか判然としなかった。事業の検証や精査があらためて必要である。

米澤卓生代表監査委員

⑥(再)滞納の解消

24年度の滞納額は、一般会計と5つの特別会計で1億1805万円に上っている。

納税者や利用者間の公平性を担保する観点からも、あらゆる手法で収納率の向上に努めてほしい。

⑦(再)不納欠損と時効回避

不納欠損とは、税金などの滞納が当人の死亡や時効などで徴収することができない場合に欠損として処理する方法をいう。

この額は、一般会計と特別会計で215万円あったので、時効の成立を極力回避されるよう最大限工夫してほしい。

⑧(再)債権回収の組織

税金の滞納者は、例えば町営住宅使用料や水道料なども重複して滞納している傾向にある。そのため、横断的でかつ効率的な専門部署を組織できないか、よりスピード感をもって真剣に検討してほしい。

⑨公営住宅と保証人

公営住宅の滞納額は24年度末の累計で779万円に上っている。

公営住宅に入居する際は、連帯保証人による保証が条件となっている。

連帯保証人は、法的に滞納者と同等の債務を負うべきとされ、保証制度を形骸化させない取り組みが必要である。

⑩沢内病院の経営

沢内病院は、町が経営する公営企業で独立採算が原則である。1719万円の赤字決算だったが、大きな理由は、常勤医師の不足による機能縮小である。

常勤医師の確保を喫緊の最重点課題とし、町民目線の利用しやすい病院を目指し、職員一丸となって全力で取り組んでほしい。

【このほかの指摘事項】
- 読書活動の推進
- 各種検診の受診率
- 資源ごみ有効活用など

全部で17項目

監査委員は、議会の審査とは別に平成24年度決算を審査しています。議会初日冒頭に、米澤卓生代表監査委員（太田）から、審査結果の報告がありましたので、その内容を抜粋してお知らせします。

～　監査委員とは　～

町には、町長部局と独立した行政委員会として監査委員会（本町では議会事務局内に併設）があり、町の財務事務が適正、効果的、合理的、能率的に行われているか定期的に監査しています。

現在は、米澤卓生代表監査委員（太田）と早川久衛監査委員（議会からの選出委員・中村）の2人が選任されています。

監査結果の全文はホームページでご覧いただけます。
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/

緊張感の欠如とマンネリ化

相当の覚悟を持って信頼の回復を

決算審査特別委員会は、9月13日から19日まで審査を行いました。委員長としての所感を述べさせていただきます。

①監査指摘を聞き流し

特別委員会に先立ち、町監査委員が平成24年度決算を審査し、その審査結果を決算審査意見書にまとめています。この意見書に記載されている指摘事項に議論が集中しました。

指摘事項には、債権管理台帳（滞納者情報）が未整備であること、滞納解消に向けたさらなる努力、不納欠損の時効回避などの事務事業に改善が見られないことから昨年と同様に指摘されております。

再指摘されること事態が事務執行にあたっての緊張感の欠如、あるいはマンネリ化にほかなりません。

監査委員の指摘や意見も当然と思えるわけですが、監査委員と町当局との間に認識の相違がないよう、町当局は説明責任を果たすことが求められます。

②見切り発車の工事発注

簡易水道事業では、旧湯田町の簡易水道を統合するために多額の工事費が支出されています。この一部の工事で、水利権などで住民の了解を得ないままに進めている状況がありました。町として相当の覚悟を持って町民から信頼を得られるよう十分な説明や協議を行う必要があります。

③常勤医師の確保を

沢内病院会計は、17億9万円の当期純損失を計上しました。今年の8月末には医師が1人退職し、危機的な状況です。

何より町長は、町民に不安を与えないよう医師確保に向け最優先に取り組まなければなりません。

④各課連携の必要性

議会では各種の事業実施にあたり関係機関が一丸となって取り組む必要性があると議論を重ねてきました。保健・医療・福祉の連携や6次産業化事業もそのひとつです。

成果をあげるために担当課を越え、横断的・全庁的に取り組まなければなりません。

⑤財政運営を評価

町の財政状況を示す経常収支比率は適正範囲内の値を示しており、町の借金を減らし積立金を増やすなど、将来を見据えた財政運営は評価できます。引き続き財政運営の健全化に取り組まれることを切に望みます。

⑥まとめ

町は、この審査を充分に参考にし、今後の行政運営に役立て、あわせて監査委員の指摘は町民目線にごく近いものであり、町民の利益に直結するものだと再認識し、今後再指摘を受けることのないように事務執行されることを切に期待します。

髙橋雅一決算審査特別委員長

9月定例会は、決算議会ともいわれます。これは、各会計の決算に時間をかけて審議を行うからです。みなさんの税金が効果的で適正に使われているかを集中的に審査しました。審査の様子をまとめた委員長報告を抜粋しお知らせします。→関連3P、8～9P、22P

町監査は書類だけでなく現地も監査します（写真は今年6月の定期監査の様子）。

このように決まりました

審議の中身

大志田児童遊園を廃止
湯田簡水統合事業に4億円
ほか

報告

平成24年度決算の健全化判断比率と公営企業会計資金不足比率の報告がありました。→関連7P

平成24年度決算の認定

すべて原案のとおり全員賛成で認定しました。

一般会計の認定では湯澤正議員が賛成討論を行いました。→関連6～9P

▼賛成討論（一般会計）

湯澤正議員

町税や地方交付税などの歳入は71億円を確保し、実質収支で2億1700万円の黒字を計上した。また、自治体の財政の余裕度を示す経常収支比率も、合併後初めて適正範囲値に到達した。

合併時には、180億円あった借金（地方債残高）を140億円まで減らし、積立金（基金）は4億円を増額しています。このような努力の結果に、合併後の財政運営の自立を目指す強い意志を感じます。

一方で、職員の緊張感の欠如、職員の熱意が感じられないという意見、水道事業では地元との話し合いがまとまらず発注が遅れたことに猛省を促すと共に、町長、副町長以下全職員の力を結集して改善すべきだし、改善してほしいと思います

約6500人の町民の期待に応えるという理想と使命感を持ち、今後の行政運営にあたられるよう期待し賛成とします。

25年度予算の補正

表のとおり平成25年度予算を補正し、すべて原案のとおり全員賛成で可決しました。

工事の契約

●左草地内の湯田簡水を統合

全員賛成 ▼可決

湯田水系導水管布設工事（1工区・左草）を契約しました。契約額は税込みで9345万円、工期は来年3月29日までです。契約の相手は㈱理水興業（花巻市）です。

●下前地内の湯田簡水を統合

全員賛成 ▼可決

【表】 本定例会での平成25年度予算補正

項　目	現在の予算額	今回補正した額	補正後の予算額	主な内容
一般会計	74億7565万円	2269万円	74億9834万円	除雪車管理費900万円、貝沢堆肥センタートラックスケールなど修理528万円ほか
国保会計	9億5941万円	14万円	9億5955万円	全国保健地域医療学会参加費1万5千円ほか
介護保険（保険事業勘定）	10億5567万円	1151万円	10億6718万円	地域密着型介護サービス給付費700万円ほか
（サービス勘定）	1245万円	24万円	1270万円	介護予防サービス計画作成委託24万円
下水道会計	4億1025万円	350万円	4億1375万円	公共下水道維持管理費（沢内分）271万円
温泉会計	8989万円	122万円	9112万円	温泉施設管理費101万円ほか
沢内病院会計（収益的収支）	6億7116万円	185万円	6億7302万円	医師紹介委託料と医師求人掲載委託料で185万円
（資本的収支）	16億740万円	43万円	16億784万円	分筆登記業務委託43万円

※ 表中の金額は、万円未満を切り捨てていますので合計が一致しない場合があります。
※ 沢内病院会計は、民間などで採用している複式簿記会計を採用していますが便宜上他会計と同様に表示しています。

○討論とは、各議員が議案に対して賛成、反対の意見を表明することです。

湯田水系配水管布設工事（３工区・下前地内）を契約しました。契約額は税込みで１億７１０万円、工期は来年３月29日までです。契約の相手は㈱近藤設備・㈲西和水道土木特定共同企業体です。

●寅沢地内の湯田簡水を統合

全員賛成 ▼ **可決**

湯田水系配水管布設工事（４工区・寅沢）を契約しました。契約額は税込みで１億３１６７万円、工期は来年３月29日までです。契約の相手は㈱近藤設備・㈲西和水道土木特定共同企業体です。

すでに始まっている簡易水道工事（下前地内の様子）

●清水ヶ野地内の湯田間水を統合

全員賛成 ▼ **可決**

湯田水系配水管布設工事（５工区・清水ヶ野）を契約しました。契約額は税込みで７４５５万円、工期は来年３月23日までです。契約の相手は㈱理水興業（花巻市）です。

条例の一部改正

●大志田児童遊園を廃止

全員賛成 ▼ **可決**

若畑地区に設置された大志田児童遊園は、利用する子どもの減少などから、８月12日に遊具を撤去し廃止しました。

そのほか

●滝沢村が滝沢市に

全員賛成 ▼ **可決**

岩手県自治会館管理組合の加盟団体である滝沢村が、来年１月１日に滝沢市へと市政移行することから、その脱退を議決しました。

みなさんの願い

●請願はありませんでした。

●陳情

・森林吸収源対策と地球温暖化対策に関する陳情

全員賛成 ▼ **採択**

【内容】森林の公益的機能を継続して確保し、その保全を担う市町村の森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るため、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を森林面積に応じて譲与し、地方財源を確保・充実する仕組みを構築してほしいとの陳情です。

【提出者】坂垣一徳さん（全国森林環境税創設促進議員連盟会長）

・私学教育を充実・発展させるための陳情

全員賛成 ▼ **採択**

【内容】公立でも私学でも学費を心配せずに生徒が安心して学べる環境を作るために、私学関係予算を増額し公私間格差を是正してほしいとの陳情です。

【提出者】新妻二男さん（私学助成をすすめる岩手の会会表）

・違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情

全員賛成 ▼ **継続**

【内容】中国で行われる臓器移植数は世界第２位で、違法な臓器売買があとを絶ちません。

そのため、臓器移植を目的とする中国への渡航を禁止する条例を制定してほしいとの陳情です。

【提出者】井田敏美さん（兵庫県）

【継続審査の理由】中国での臓器売買の実態を把握できないため。

議員発議

・道州制に断固反対する意見書

【内容】町村は、これまで住民の生活を支えるため、食糧供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統や文化を守り、自然を生かした地場産業を創出し住民と共に個性あるまちづくりを進めてきた。

効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくりあげる道州制は住民を置き去りにする。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては、全体としての国力の増強につながるものであると確信しており、道州制の導入には断固反対する。

【提案者】柳沢安雄、早川久衛

このほか請願・陳情で採択された２件は、内閣総理大臣や関係省庁に、西和賀町議会からの意見として意見書を提出しました。

理科教育設備整備等に関する要望書、母（朱春菊）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望書は、議員全員に参考配付（コピー）しました。

○請願には議員の紹介（署名）が必要です。議員の紹介のないものは陳情として取り扱います。
本会議で採択された請願・陳情は、意見書として関係機関に提出しました。

事前通告書や会議録は、その都度町ホームページに公開しています
http://www.town.nishiwaga.lg.jp/

ここが聞きたい 一般質問

9月定例会では5人が一般質問しました

一般質問を終えて
保健師さんの頑張りは
理解してます
でも、今以上に
現場に足を運んで
ほしいですね

中村キミイ 議員
・男女共同参画プランに関して　・食と健康に関して

一般質問を終えて
ワラビを飛躍的に伸ばしたい思いで町の考えを質したが、ひかり放送を聞いているみなさんにご理解頂けたか、気になった一般質問だった

湯澤　正 議員
・ワラビの可能性に関して

一般質問を終えて
まだまだ、
つめが甘い！
未熟だな～m(_ _)m

刈田　敏 議員
・観光産業に関して　・廃校利用に関して

一般質問を終えて
細井町政４年間
ご苦労様でした

淀川　豊 議員
・町政全般に関して　・災害対策に関して

一般質問を終えて
常勤医師の
確保を早期に
すべきでしょう

髙橋　昭貴 議員
・公営住宅に関して　・病院建設に関して　・堆肥センターに関して

議会傍聴はどなたでもできます。中座もできますので、時間にしばられることもありません。是非、生の議会をお聞きください。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。

年４回の定例会のみで、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

西和賀町議会では、議員が質問できる時間は30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

質問は、議員と町長が対面し、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務づけています。

・登壇順（質問順）

公平をきすために、通告書の届出順にくじ引きをし決定しています。

6月16日、沢内トレセンで、町内女性5団体から約90人が参加し西和賀町きらめく女性体育祭が行われました。町民劇主題歌「きらめきて西和賀の町」に新しく振り付けをするなど楽しい交流の場となりました。

質問

野菜摂取量が不足しているのではないか

中村キミイ 議員

健康福祉課長

国の統計上でも減少している

男女共同参画プラン固定観念の払拭

質問 さきごろ西和賀町男女共同参画プランが策定されたが、この策定動機は何か。

生涯学習課長 人口減少や少子高齢化で社会情勢が変化し、地域や町を維持していくためには女性や若者の参画が重要になってきている。そのため女性が社会参画しやすい環境づくりを町民と一緒に共有していくためのプランである。

質問 平成21年8月に着手し、プラン策定まで4年を要したが、これほど時間のかかった理由は何か。

生涯学習課長 プラン策定にあたり、検討委員の意見だけでなく、町民700人を対象にしたアンケート調査での意見、さらに9地区で行った地区懇談会での意見などもあり、この意見集約に時間がかかった。

質問 女性が社会活動や意志決定の場に参画することに対し、まだ固定観念を払拭できない現状にある。女性が自発的に社会活動などに参画できるような方策が必要だと思うがどうか。

生涯学習課長 あらゆる機会を通じてプランを周知していきたい。

食生活の変化と病気予防との関係

質問 従来の日本型食生活が欧米化し、野菜摂取不足が懸念されているが町の実態はどうか。

保健福祉課長 町の食生活の変化に関し調査したものはないが、生活様式全体が変わってきたという実感はある。

国が毎年実施している国民栄養調査結果では、国民1人当たりの野菜全体としての一日の摂取量は昭和22年は300gで平成22年は270gと減少している。

現在、国が示す野菜の摂取量は350gで、野菜に含まれるカリウムやビタミン、食物繊維が循環器などの疾患の予防に有効であると考えられている。

質問 健康指導で、生活習慣病対策への意識は高まってきているように思えるが、成果がみられない。各種検診事業の受診率も低下している。しっかりとした健康指導が必要ではないか。

町長 保健師の担う役割は重要であり、住民の健康管理にあたる大切な任務がある。今後は、議論を重ね新しい方向性を整理していきたい。

質問

西わらびの可能性はどれほどか

湯澤　正　議員

副町長

可能性は大いにある。町ぐるみで頑張りたい

10月11日、６次産業推進センターの主催で、西和賀町山菜栽培指導会が行われました。生産者など21人が参加。山菜名人の小田島薫さん（本屋敷）のほ場の視察や意見交換などが行われました。

ワラビ生産額1億円を目指した取り組み

質問　西和賀産業公社の今年のワラビの実績はどうか。

農林課長　集荷量は11・6ｔで、仕入額７００万円、出荷売り上げは２１５９万円だった。

質問　産業公社の取扱量は、町の年間生産量の何割か。

農林課長　関係者への聞き取りなどの結果は、産直施設などで14ｔ、旅館が４ｔ。自家消費と贈答で２ｔ、ワラビ園で４ｔ、合計で35・６ｔだが、それ以上になっている。産業公社の取扱量は約３割だ。

質問　町全体の栽培面積、生産量を金額換算した生産額はいくらか。

農林課長　担当者が集計したところ栽培面積が約21haで生産額が約３千万円。生産額で１億円を目指すには栽培面積は50ha、栽培農家数は２５０戸必要だと考えている。

質問　生産額１億円には面積拡大がキーになるが、拡大をどのように図るのか。

農林課長　これまでの根茎の配布以外に、栽培者自身の根茎植え換え増殖や新たな技術のポット育苗の検討などを通して拡大を図る。

質問　良品質苗の供給は検討しているか。

農林課長　普及サブセンターを中心に増殖に向けた苗圃栽培に取り組んでいる。２～３年後には配布したい。

質問　ワラビでんぷんの確保はどうか。

農林課長　ワラビほ場更新の際に確保するほか、ワラビでんぷん専用のほ場も必要だと考えている。

質問　湯川地区で間借りしている今の加工場は、これ以上の原材料受け入れや作業は難しい。加工場の建設も将来的な検討課題ではないか。

農林課長　現加工場はスキー場ロッジで以前から不便だったほか、今後は大量処理のための機械化が必要になってくる。将来的には是非とも加工場が必要だと考えている。

質問　ことは急ぐべきだと思うが、どうか。

農林課長　西わらびを永続する仕組みづくりの中核となる、西わらび生産販売ネットワークを自立した組織にすることが重要だ。１億円はその結果であり共に頑張りたい。

質問

観光産業のてこ入れが必要ではないか

刈田　敏　議員

町長

山岳観光の旅行企画を主体的に主催したい

西和賀町観光協会が主催した「登山ガイド養成講座」には９人が応募しました。講座では、女神山、真昼山、高下岳、南本内岳、沢尻岳の５回の実地研修を行いながら全講座を修了しました（写真は女神山での記念スナップ）

宿泊客の減少とガイド養成

質問　西和賀町の宿泊客の推移は。

観光商工課長　17年の6万4千人を基準として24年度は5万6千人で86・5％となっている。

質問　宿泊していただくには、より努力が必要と考えるがどうか。

観光商工課長　まずは、交流人口の拡大を増やしていきたい。今年は、西和賀町観光協会が窓口となって登山ガイドの養成講座を開催している。

質問　観光産業として捉えた場合に、もう少してこ入れが必要だと思うが、町長はどのように考えているか。

町長　山岳観光、例えば山、登山、滝めぐり、渓流釣りがあるが、このような旅行企画を主体的に主催することに着手したい。

質問　観光商工課の業務の域を超えないのか。

町長　観光協会で担うか、専任の担当者を設置し企画提案するようなイメージは持っている。

空き校舎の活用に関し進展みられず

質問　空き校舎となっている旧第一小学校と貝沢小学校の活用状況はどうなっているか。

副町長　現時点では、具体的な活用案までできていない。

質問　空き校舎の活用促進に関し、町からは今までも同様の答弁がなされているが、行政需要はないと判断することも必要ではないか。

副町長　いつかの時期で判断せざるを得ないだろうと考えている。

質問　小学校適正配置は児童により良い環境を提供するのが目的で、大きな決断の後に現在に至っている。しかし、空き校舎活用の進展はなく、町民も不安に思っているがどうか。

副町長　施設に対しての思いは誰しもが同じだが、すぐに解決できるものではない。

質問　地域に相談する考えはあるか。

町長　具体的にどこに対し、どのように呼びかけるか協議して進めたい。

【そのほかの質問】

・中尊寺ハス池公園（湯川地区）の状況は

質問

細井町政一期4年間の成果は

淀川 豊 議員

町長

新病院建設に着手したことなど

町は昨年、1997万円で日本ボート協会C級認定コースとなる錦秋湖ボートコースを整備しました。1000m競技コース4レーンなどを整備しました。（写真は、新コースで行われた今年5月～6月の岩手県高校総体ボート競技大会。女子ダブルスカルの部で3位に入賞した竹澤・吉田ペア（西和賀高））

任期満了に伴う細井町政の総括と今後

質問 細井町政1期4年間の成果は。

町長 厳密な費用対効果は算出していないが、私なりには、新病院建設や火葬場の建設に着手できたこと。病児保育所の開設と自立的生活確保のための住宅ケアホーム整備補助金の実施。また、ブロードバンド環境の整備や携帯電話の受信改善に取り組むことができた。

6次産業の推進と町民劇場の実施、錦秋湖ボートコースの整備なども挙げられる。

質問 私自身としては、非常に難しい町政課題や調整事項にこの4年間で真摯に向き合い、先送りせずに判断してきたことが細井町政の一番の成果だと強く思う。

それでは、今後の町の課題をどのように考えているか。

町長 今まで着手した事業に対し、選択と継続に勇気を持って臨んでいくことが大事である。

どのような状況になろうとも、着手している事業が町のためになるという信念で、常にプラス思考で行動する人間力が必要である。

また、町民が当事者になり参加するという住民力が必要だし、同時に住民力の育成が大きな課題でもある。人材育成と支援体制のあり方をしっかりと考えていく必要がある。

質問 地域の課題解決のため基本的にどのように考えているか。

町長 課題に対しどのように考え、それをどのように激励できるかが重要である。

気づきと自分自身が変化することが必要である。自らを見る目を持ち、行動させる動機付けも必要だ。

質問 町長の目指す西和賀町はどのようなものか。

町長 人間を良い意味で評価できる力を持ち、そして笑顔で人を受け入れることのできる住民力のある町だ。

今だから防災計画の見直しは必要である

質問 東日本大震災後も頻発する地震、ゲリラ豪雨、竜巻などの被害が各地で多発している。本町の地域防災計画は見直しの必要はあるのか、ないのか。

総務課長 町の防災計画は、風水害対策と地震対策にまとめてあるが、避難施設の見直しは必要だ。

質問

新病院建設は順調か

髙橋　昭貴　議員

着々と進む新病院建設。現在の進み具合は、全体の１割程度ですが順調に進んでいると、町長から答弁がありました。（写真は９月11日現在）

町長　予定通りで来年6月30日完成で進めている

ニーズにあわせた公営住宅の整備の必要性

質問　地元企業の関係者の話では、町外から社員を採用することはできるが宿泊場所がなく苦慮しているとの指摘がある。町の公営住宅の状況はどうなっているか。

町民課長　湯田地区に独身者向けの若者定住促進住宅が8戸あり、全て入居している。これ以外の公営住宅は、所有戸数81戸に対し3戸の空室がある。

町では、地元企業の要望に少しでも応えるため、町営住宅の入居基準を単身世帯でも申し込みできるように昨年条例を改正した。

また、企業支援として、旧上野々教員住宅や旧越中畑教員住宅などを希望する企業と賃貸契約をし貸し出している。

質問　このようなニーズにどう応えていくのか。

町民課長　単身者や若年者の住宅需要が高まっていることは認識している。今後は、定住促進のための住宅整備や民間アパート建設の支援策を検討していきたい。

新病院建設の整備状況

質問　新病院建設の進み具合はどうか。

町長　新病院建設は㈱銭高組と5月31日に本契約、6月3日着手、来年6月30日完成で進めている。6月21日には安全祈願祭を行い、翌日から基礎の掘削工事を行っている。

病院事務長　突発的なことがない限り、当初の計画どおり建設できると考えている。

質問　当初心配された資材や労務単価の高騰などの状況はその後どうか。

病院事務長　特に動きはない。

質問　懸案の屋根工事はどうなるのか。

病院事務長　屋根をふけば落雪による危険があり、足場を組んで工事をすることができなくなるため、屋根をふくのは来年3月に行いたい。

貝沢堆肥センター撹拌機の故障問題

質問　貝沢堆肥センターの堆肥の撹拌機が故障し、かなりの修理費用を要するとの説明が以前にあった。現在、どのような状況になっているか。

農林課長　7月3日に日環エンジニアリング㈱と3255万円で契約を締結した。11月中旬までには設置したい。

ひゃくじゅついっせいにしかず　第十回

百術不如一誠

議長　佐々木　正裕

別れ

9月定例会最終日は、埼玉県に住む私の義父の葬儀のために本会議を急遽欠席しました。私たち夫婦にとって、唯一生存していた親でした。今回は、私ごとで恐縮ですが、この別れをきっかけに感じたことを記します。

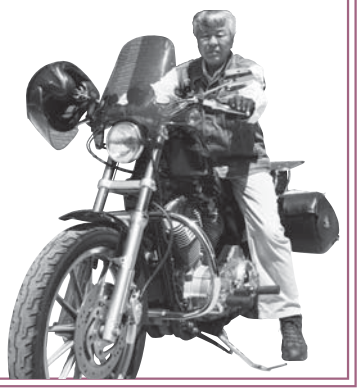
別れかたの違いはあるにせよ、誰もが出逢いと別れを繰り返します。いずれは最愛の妻や子どもたち、親とも別れる日がきます。

ベストセラー作家の伊集院静氏は、「大人の流儀3・別れる力」と題した作品の冒頭で『別れることは切なく苦しいことだ。時によっては非情にさえ思える。しかし、私たちが生きていく上で離別は避けて通れるものではない』とし、北海道のサラブレットの子馬と母馬の例を出しながら、『親しい人を失ったとき、もう歩き出せない程の悲哀の中にいても人はいつか再び歩き出すのである。歩き出したとき、目に見えない力が備わっているのが人間の生と言うものだ。その時は信じられないかもしれないが、確実にあなたにはその力が与えられている。そしてその力こそが、生きる原動力であり、人間が持つ美しさでもある』と記しています。

私の今回の別れは、ある意味で必然ですが、一方で理不尽な別れを経験されている方もたくさんおります。その渦中の際は、ただ途方にくれて悲嘆しても、歳月の経過とともに大きな力を得ていることに気づくのだと思います。

嘆き悲しむより、むしろ人は別れを数多く経験し、本物の大人になっていくのだという事を胆に銘じながら日々の生活を送りたいとあらためて感じたところです。

※伊集院静「大人の流儀3・別れる力」（講談社）から一部引用



※「百術不如一誠」は、議長の所感などを毎号掲載しています。

議会行動

平成25年6月定例会以降の議会公式行動

6月16日　きらめく女性体育祭「町内」　議長
21日　西和賀産業公社定時株主総会「町内」　議長、産建委員長
新病院安全祈願祭「町内」　議長、産建委員長
ＪＡいわて花巻懇話会「花巻市」　産建委員長
23日　地域医療講演会＆命をつなぐ復興支援コンサート「町内」　議長　他
24日　湯田牛乳公社定時株主総会「町内」　議長、産建委員長
25日　第18回西和賀町議会臨時会「議場」　議員全員、事務局
28日　シニアスポーツ大会「町内」　議長
29日　岩手の未来を拓く公開ＩＬＣ講演会「盛岡市」　議長、局長
30日　西和賀町消防操法競技会「町内」　議長
第4分団消防操法大会慰労会「町内」　議長
7月1日　学校地域公開《学校訪問》「町内」　議員8人、事務局
2日　県南地区町議会議長会議員研修会「町内」　議員9人、事務局
3日　西和賀町・北上市両議会議員研修交流会「北上市」　議員10人、事務局
4日　政務調査会幹・事務局長研究会「花巻市」　局長
～5日
5日　岩手県議長会会長・副会長協議「盛岡市」　議長
にしわが建設会定時総会「町内」　議長、産建委員長
7日　故赤坂祐三儀　告別式「町内」　議長
8日　第19回西和賀町議会臨時会「議場」　議員全員、事務局
なめとライン整備促進期成同盟会総会「町内」　議長、副議長、産建委員長
9日　体育協会評議員会「町内」　議長
10日　定例理事会・政務調査会及び研修会「金ヶ崎町」　議長、局長
23日　岡山県備前市議会視察対応「議員会議室」　議長、前町政調査会長、局長
24日　岩手町議会議会運営委員会視察対応「議員会議室」　議長、事務局
西和賀商工会長杯ＧＢ大会「町内」　議長
30日　町村議会夏季議員大学講座「盛岡市」　議員2人、局長
～31日
8月1日　国体手県準備委員会総会「盛岡市」　議長、局長
4日　マラソンマスターズ大会「町内」　議長ほか
5日　北部地区町村議会事務局職員研修会受け入れ「議員会議室」　議長、町政調査会長、局長
8月6日　第20回西和賀町議会臨時会「議場」　議員全員、事務局
西高存続対策委員会との懇談会「町内」　議員9人、事務局
7日　県への要望「町内」　議長、局長
10日　故小山田恵儀お別れ会「盛岡市」　議長、局長
12日　北上市議会事務局長来庁対応「議長室」　議長、局長
15日　新成人記念行事「銀河ホール」　議長　他
21日　北上中部地方拠点都市地域議会協議会総会「北上市」　議長、副議長、局長
22日　中央研修会「東京都」　議長、副議長、局長
23日　岩手県選出国会議員との懇談会「東京都」　議長、副議長、局長
24日　交通安全協会沢内支会『死亡事故ゼロ千日達成記念事業』「町内」　議長
26日　花巻・沢内間整備促進を求める要望「東京都」　議長
27日　西和賀農業まつり実行委員会「町内」　議長
28日　盛岡横手線道路整備促進期成同盟会通常総会「町内」　議長
西高存続対策委員会と意見交換会「町内」　議長、町政調査会幹事局長
29日　沢内病院　石川清先生送別会「町内」　議長
9月2日　知事を囲む懇談会「盛岡市」　議長、局長

議会内部の会議は省略しています。また、行事名も一部省略しています。

このように使いました

議長交際費をお知らせします

（平成25年6月12日～9月9日までの内訳）

お祝い	なし	0円
会費	11件	5万6500円
お悔み（花輪なども含みます）	3件	1万5千円

8月の豪雨被害

甚大な被害の雫石町にお見舞い

猿子議長（左から4番目）に義援金を手渡す佐々木議長（右から２番目）

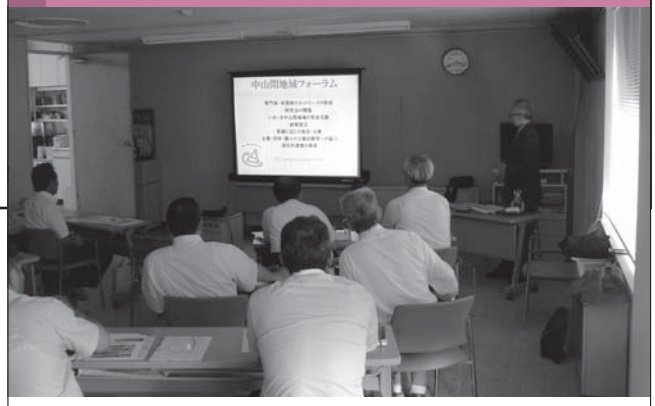
西和賀町議会として、9月26日に、8月9日の豪雨により甚大な被害を受けた雫石町を訪問しお見舞いをしました。

当日は、猿子恵久（しげひさ）雫石町議会議長、石亀貢（みつぎ）同副議長、深谷政光雫石町長などの出迎えを受け、猿子議長に義援金を届けました。

広報しずくいし9月号によると、「被害額は約65億円（9月4日現在の推計）で、気象庁の観測によると、雫石町の８月９日の日降水量は264㎜、１時間降水量は12時に78ミリと観測史上最大値を記録した」とのことです。お見舞い申し上げます。

産業建設常任委員会で独自学習会

条件不利地域で取り組むこと



佐藤講師は、わかりやすく地域づくりのあり方を説明してくれました。

9月24日、西和賀町議会産業建設常任委員会（町政調査会の共催）は、中山間地域フォーラム会長の佐藤洋平氏（東京大学名誉教授）を招き独自学習会を行い、議員、職員など約20人が参加しました。

佐藤講師は、中山間直接支払いの制度づくりに携わった方で、当日は「魅力ある地域を創る－条件不利性の克服－」と題した講演をいただきました。佐藤講師は「一人でせい（自己決定と参画）、話し合ってせい、みんなでせい（民主主義と協働）の取り組みが必要だ」と話していました。

基礎工事の段階

新病院建設工事現場を視察

現場視察する議員団

さきごろ西和賀町議会では、議員による新病院建設地現場視察を行いました。視察の結果、本来は現場に表示しておくべき必要な情報を掲載した看板などが欠落していたため、是正を求めました。

現場視察に引き続き、(株)銭高組の大坪現場管理技術者から、工事状況、今後のスケジュールなどを確認しました。

来年6月30日の完成を予定している新病院建設工事は、当初の予定どおり順調に進んでいます。一方で8月末で石川清副院長が退職し、常勤医師が１人体制となったことから医師確保は、重要な喫緊の課題となっています。

岩手県町村議会議長会

町村の思いよ、県に届け

それぞれの町村からも切実な要望がなされました

岩手県町村議会議長会（会長・田村繁幸一戸町議会議長）は、9月2日岩手県自治会館（盛岡市）で、第51回知事を囲む懇談会を行い、佐々木議長をはじめ県内20町村議長が達増岩手県知事と意見交換を行いました。要望内容は東日本大震災からの早期復興など多岐にわたりました。

これに対し達増知事は「具体的課題を県と町村で取り組む。働くチャンス、仕事のチャンス、復興でのビジネスチャンスをうまく捉えて生かしていく。市町村の未来を県民と共に確認しながら復興と地域振興につなげていく」と話していました。

知ってるようで知らない 議会deお勉強!?⑭

今回は

決算とは

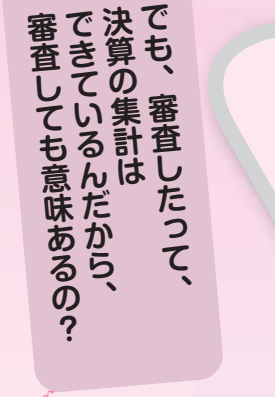
→関連6～11P

に関してじゃ

●議会の仕組みや難しい用語をできるだけやさしく説明していきます。

9月定例会は、決算議会っていうんだよね。どうして？

決算書は、いつ作ってもいいの？



でも、審査したって、決算の集計はできているんだから、審査しても意味あるの？

まずは、決算とは何かということじゃ。決算とは町にいくらお金が入ってきて、いくら使ったかを集計したものじゃ。決算書とは、そのやりくりの結果を記したものじゃ。その決算を審査するのが9月定例会だから、決算議会というわけじゃ。

町の会計は、4月1日から翌年の3月31日までの1年間と定められておる。しかし、3月31日を越したからといってすぐには集計できない。4月から5月の2か月間は、前年度から支払うことが決まっているもの、逆に入ってくるものを整理する出納整理期間として設けられ、この期間終了後3か月以内に作ることになっているんじゃ。

ほほ～、するどいの。決算ができあがったら、まずは監査委員に審査してもらい、その後に議会で審査することになっている。だから、正直に言えば議会で認定しようが不認定としようが決算への効果はないとされているんじゃ。

しかしじゃ、議会で審査することが、チェック機能の役割を果たすことになるんじゃよ。

シリーズその後を追う⑳

〔このコーナーでは、議員が一般質問などを通して町に問いただしたことが、その後にどうなったかをお知らせします〕

あの課題はどうなった？

長瀬野線の改良工事。いつやるの、今でしょ

経緯

幅員狭く危険すれ違い不可

県道盛岡横手線と長瀬野・両沢地区を結ぶ町道長瀬野線は、幅員が狭く軽自動車のすれ違いがやっとです。対向車がくれば道路部に設けられた退避所で退避しなければなりません。

また、道路の片側は急な斜面のため危険だと以前から指摘されていました。

議会では

現地を視察 町長に伝達

町政調査会（高橋雅一会長）では各地区や各種団体から意見や要望などを聞く、住民の声を聴く会での地区要望なども受けて、平成22年には現地調査を実施したところです。議会で指摘した後は、簡易的な安全ロープなどが設置されたものの根本的な解決にはいたっていませんでした。

平成22年４月、現地調査の様子

結果

ようやく着工 完成は来年1月

地区の念願がかない、ようやく改良工事が実現しました。

工事の概要は、現在の幅員から1・5ｍほど拡幅します。また、危険だった片側にはガードパイプを設置し、あわせて道路側溝も整備します。

この工事は、6730万5千円で㈲高幸建設（西和賀町）と契約を締結しました。工期は来年の1月14日までです。

また、この工事と並行して、長瀬野線の八年橋も路面のひび割れやらんかんの補修工事を行っています。

工事期間中は、みなさんにご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願いします。

工事内容や通行止めに関しては、建設課までお問い合わせください。

◆建設課　☎㊽3288

長らくお待たせしました!! 工事は順調に進んでいます。

八年橋補修工事は、㈱小田島組（北上市）と約1億849万円で契約しました。

みなさんと議会を結ぶ
西和賀町 議会だより
No.32

夢をつかめ!! にしわがっ児 Vol.18

湯田中・沢内中野球部

本コーナーは小中高生のクラブ活動などを紹介していきます

湯田中野球部の部員数は10人、沢内中野球部の部員数は8人。湯田中は、単独での出場も可能でしたが選手の体調や怪我など両校の部員数を考慮して、合同チームとして新人戦に出場しました。

両校の部員らは試合に参加できる喜びをかみしめて、堂々と入場行進しました（9月21日江釣子球場）。試合は、一回戦・上野中と対戦し残念ながら3対5で惜敗しました。

髙橋光平さん
（2年・湯田中野球部主将・大沓）

はじめは不安だったし、遠慮もしていました。合同練習の時間も少ないまま大会を迎えましたが、新人戦では全員野球ができたし、合同チームとして一番良い試合ができました。

勝てなかった原因や課題を改善して、次回の大会につなげていきたいと思います。

米澤康太郎さん
（2年・沢内中野球部主将・太田）

新人戦は負けましたが、出場した選手だけでなく、ベンチにいる仲間も大きな声で応援してくれるなど、全力でプレーすることができました。

本来なら敵チーム同士なので、意見をまとめたり、いろいろ難しいところもありましたが、みんなでカバーしあえたと思います。

人数が少ない、雪が多いことを言い訳にせず、今後も頑張ります。

おなが～く「生涯現役」です (17)

本コーナーは老人クラブの活動などを紹介していきます

若畑長生会（ちょうせいかい） 会長
児玉幹夫（みきお）さん
（74歳・若畑）

若畑区長を8年間やって、その後平成19年から会長をやっています。現在の会員は、地区の対象者のうち約半数の48人です。

クラブでは、雪解けとともに、クラブと区長で管理する創作館の雪囲いはずしから始まり、6月にはさなぶり（※田植えが終わったころに田の神様を送る慣わし）をやります。また、保育所児童への縄ないや中学生へのつる細工などの伝承活動なども毎年行っています。

このほか会員向けの文集を発行しています。22年度から「老いの繰りごと」と題し復刊しました。是非やりたい、という会員の要望に応えました。文章が得意な人もいるし、中には、来年の分まで書く人もいます。

歳をとっても、意外と昔のことは覚えているもので、後世への記録として残るので復刊して良かったと思います。

川舟保育所の子どもたちと和気あいあいとした雰囲気の中で、「縄ない」の仕方を指導します。

暫時休憩

今年も残すところ数か月となりました。暑かった夏が終わり、山里も実りの季節となりました。収穫は大変忙しいことと思います。

決算議会も終わり、平成24年度の実績の中から多くの収穫もありましたが、課題も明確になってきました。収穫は地域のみなさんで分け合いながら次に進み、明確になった課題は反省をし、厳しい冬に備えたいと感じています。

この収穫の時期を町民のみなさんと大いに感謝し喜びたいと思います。

広報編集常任委員会
副委員長　淀川　豊

【議会だよりは広報編集常任委員会で編集しています】

委員長　中村キミイ
副委員長　淀川　豊
委員　佐々木正裕
〃　髙橋昭貴
〃　刈田　敏

発行日／平成25年10月25日・年4回発行
編集／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会
印刷／鶴田印刷株式会社・横手市
発行人／岩手県・西和賀町議会広報編集常任委員会　委員長　中村キミイ
〒029-4602 岩手県和賀郡西和賀町沢内字太田2地割81番地1
西和賀町（沢内庁舎）TEL 0197(85)3416 FAX 0197(81)2008

VEGETABLE OIL INK